

9月9日（木） 知事会見

- ①「医療非常事態宣言」を解除し、「医療警報」を発出
(9/13~)
- ②全県に感染警戒レベル4「特別警報Ⅰ」を発出
(9/13~)
- ③時短等要請の終了（松本圏域・長野圏域）
- ④療養・検査体制の強化
- ⑤「デルタ株と闘う県民共同宣言」賛同のお願い

（「命と暮らしを救う集中対策期間」は9/12で終了）

確保病床使用率は28.2%まで低下

月日	直近1週間の 新規陽性者数 <small>※発生届受理日ベース</small>	入院者数 (確保病床)	確保病床 使用率	備考
8/19 (木)	790人 (8/13-8/19)	233人	47.6%	医療非常事態 宣言発出前
8/23 (月)	ピーク 888人 (8/17-8/23)	245人	50.0%	ピーク 直近1週間の 新規陽性者数
8/29 (日)	641人 (8/23-8/29)	ピーク 273人	ピーク 55.7%	ピーク 入院者数& 確保病床使用率
9/8 (水)	268人 (9/2-9/8)	138人	28.2%	直近

このため、

- 「医療非常事態宣言」については、解除目標である9/20を待たず、集中対策期間の終了（**9/12**）をもって解除
- 9/13からは「医療警報」を発出

感染防止にご協力いただいた

全ての皆様に感謝

10圏域すべてで陽性者数がレベル4相当以下に

直近1週間（9/2～9/8）の新規陽性者数

※発生届受理日ベース

（単位：人）

圏域	新規陽性者数	レベル5引上げ基準	（参考）人口10万人当たり
佐久	29	41 以上	14.17
上田	19	39 以上	9.79
諏訪	30	39 以上	15.45
上伊那	12	36 以上	6.66
南信州	8	32 以上	5.14
木曾	4	32 以上	15.70
松本	75	85 以上	17.68
北アルプス	31	32 以上	55.06
長野	56	107 以上	10.50
北信	4	32 以上	4.84
全県	268	205 以上	13.07

このため、

- **全県の感染警戒レベル5「特別警報Ⅱ」**は、感染警戒レベル引下げ基準に基づき、集中対策期間の終了（**9/12**）をもって**終了**
- 9/13からは全県に感染警戒レベル4「特別警報Ⅰ」を発出

第5波の収束に向け、
感染防止対策の再徹底を

集中対策期間中（～9/12）は、基本的な感染防止対策をより厳格に行っていただくとともに、特に次の行動にご協力ください

- ① 大人数の集まりや人混みを避け、人と会う機会を普段の半分以下に。
- ② 自宅等も含め、茶飲み話や普段会わない人との会食をしない。
- ③ 県境をまたいだ移動（旅行、帰省、出張など）を取りやめる。
- ④ 会話の際はマスクを着用し、室内・車内の換気を徹底する。
- ⑤ 体調が悪い時には、すぐに医療機関に相談する。
- ⑥ ワクチンの接種について検討し、接種後も感染対策を徹底する。

時短等要請の終了（松本圏域・長野圏域）

松本圏域

（松本市・塩尻市・安曇野市）

予定どおり **9/12（日）** で終了 します

※圏域の直近1週間（9/2-9/8）の新規陽性者数 **75人**
人口10万人当たり **17.68人**

長野圏域

（長野市・須坂市・千曲市・坂城町・小布施町・高山村）

予定どおり **9/12（日）** で終了 します

※圏域の直近1週間（9/2-9/8）の新規陽性者数 **56人**
人口10万人当たり **10.50人**

療養体制の強化①

① 1,500人程度の陽性者に対応できる療養体制を構築

○ 確保病床の増床と宿泊療養施設（6棟目）の増設

病床

・入院(確保病床) 490床 ⇒ **529床 (+39)**

(529床内訳：中・軽症者用486床、重症者用43床)

・緊急的対応病床 ⇒ **79床 (+79)**

宿泊療養施設

・宿泊療養施設 523室 ⇒ **806室 (+283)**

※1,500人の陽性者のうち、これまでの状況を参考に、入院者が3割（450人）、宿泊療養施設の入所者が4割（600人）、自宅療養者が3割（450人）と想定（病床と宿泊療養施設の稼働率は75%）

※確保病床数（確保病床使用率）は、9月9日から変更（529床へ）

※新たな宿泊療養施設は、9月8日から稼働

※緊急的対応病床はひつ迫時に要請する病床

療養体制の強化②

② 療養者を重症化させない体制を整備

○ 抗体カクテル療法の促進

**中和抗体薬の備蓄医療機関として、
10圏域 30病院を登録医療機関に指定**

- 振り分け診療等により、適応者（重症化リスクのある軽症者）を選別し、早期に抗体カクテル療法を行い、重症化を防ぐ
 - ※ 30病院は、中和抗体薬を備蓄して早期の治療開始を進めるために、県が指定した病院

○ ネーザルハイフロー（高流量の酸素療法）活用体制整備

整備見込 34病院 140台（既存42台を含む）

- 中等症患者の重症化防止のため、入院医療機関にネーザルハイフローを整備
 - ※ 6月補正予算を活用し、9月中に整備完了予定

検査体制の強化

早期発見・感染拡大防止のための検査体制の充実

- 抗原簡易キットを市町村と連携して県民へ配布

当面、54市町村で、約11万個を順次配布

- 市町村から希望する者へあらかじめ配布し、微熱やのどの違和感等の軽微な症状がある場合等、医療機関受診に迷う場合に使用

※ 54市町村、約11万個は9/9現在で希望のあった市町村

- 1,800を超える団体・企業が賛同。
ご協力に感謝。

* 賛同団体・企業 **1,833者** (9/9 (木) 15:00現在)

- 賛同者を引き続き募集中。